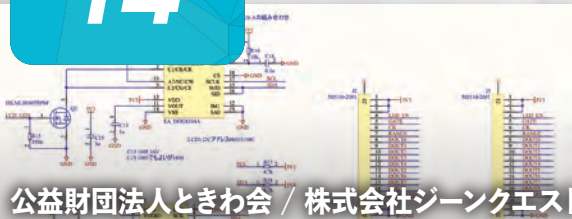


実施期間	実用化開発場所	連携自治体
2021-2023	いわき市、東京都	-

事業実施前（設計段階）

事業実施開始後  
（実装段階）



公益財団法人ときわ会 / 株式会社ジーンクエスト / Blue Industries株式会社

## 災害医療や被災地における“身体”の即時 分析が可能な検査キットを開発する

被災地や災害医療現場では、健康状態を簡便かつ迅速にモニタリングする必要があります。本事業では、乾電池で動作可能な小型の非侵襲検体簡易検査装置の開発および実用化を行います。

公益財団法人ときわ会  
先端医学研究センター長  
加藤 茂明

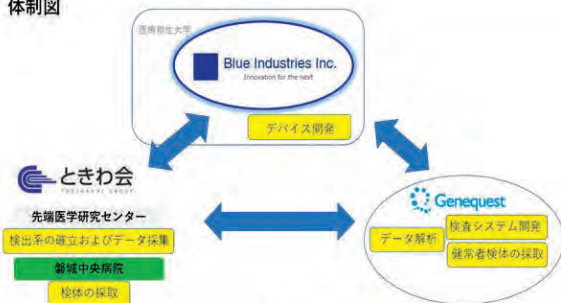
**開発背景** 災害や緊急時では、通常の臨床検査システムが稼働しない可能性があります。小型で持ち運び可能な、災害時でも乾電池で動作する検査デバイスを開発することで、事前に健康悪化・発病の危険性を察知できる一過的な検査システムを提供します。

実用化時期	令和5年度（2023年度）
販売製品・サービス名	災害対応型オンサイト検査デバイス
成果物（最終年度）	オンサイト型ポータブル検査キットの実用化（データベース構築、デバイス開発、実証実験）
創出される経済効果	研究・実用化開発のため、医師や博士取得者等の雇用が発生。また、開発に必要な物品を浜通り地域や福島県内の企業・商社から調達。

要素技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>核酸解析技術…微小電子機械システム</li> <li>※MEMS(Micro Electro Mechanical Systems)</li> <li>MEMS技術を用いた小型分析技術</li> </ul>
開発のポイント	従来、困難であった災害現場での非侵襲検体による体の状態分析について、小型検査キットを開発することで、被災地での医療環境向上が可能です。

### 本事業の体制

#### 体制図



### 浜通り復興に向けたメッセージ

浜通り地域から、本事業の成果を発信し、多くの人の医療に貢献できるよう、研究開発の次のステップとして、量産化へのステップに移行し、事業化展開を目指します。

雇用数	実績	2名（うち、地元雇用者2名）
	今後の予定	15名（うち、地元雇用者15名）
地元企業との連携	拠点立地件数(立地場所)	1件（いわき市）
	R&D・開発	常磐病院、医療創生大学などの地元医療機関や大学等と連携し研究開発を推進
	資材調達	材料費や消耗品について地元商社より調達
	製造	電子基板設計が可能な地元企業を調査中
販路開拓	量産時の電子基板を製造可能な地元企業を調査中	

### これまでに得られた成果

成果品・試作品	災害対応型オンサイト検査デバイスの試作機
知的財産権	1件（特許権   出願予定）
開発技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>核酸解析技術の改良</li> <li>MEMS技術を用いた小型分析技術の改良</li> </ul>
自治体との連携実績	-
代表的な企業との連携実績	-
メディア露出や受賞歴	-

### 連絡先

公益財団法人ときわ会 | 福島県いわき市常磐上湯長谷町上ノ台57番地  
☎ 0246-81-5122 (担当: 天野 伶 / 安瀬 賢一) ✉ riim@tokiwa.or.jp

株式会社ジーンクエスト | 東京都港区芝五丁目29番11号 G-BASE 田町  
☎ 03-6633-4812 (担当: 齋藤 憲司) ✉ support@genequest.jp

Blue Industries 株式会社 | 東京都墨田区錦糸1-2-1 アルカセントラル14階  
☎ 03-5830-3593 (担当: 中山 由布) ✉ contact@blueindustries.co.jp



投資規模 1~5億円  
開発人数 30~49名  
販売時期 令和7年度（2025年度）  
販売形態 福島県内の商社等を通じて検査デバイスを販売予定  
販売見込先 4社  
協業希望先 福島県内の商社、電子基板の量産が可能な企業